

委員会活動報告

議会運営委員会

期日：10月29日～30日

場所：山形県長井市・南陽市

情報共有で議会活性化

◎山形県長井市

昭和29年に1町5カ村が合併し誕生。人口約2万9800人、面積214・69平方キロメートルで、県南部の置賜盆地に位置している。

議員定数は18人で、平成21年

6月から市議会のインターネット

中継を開始しているほか、議員全員協議会を毎月開催し、委員会などの情報を共有している。

また、議会運営委員会を定例会閉会後も開催し、議会中の内容

点検など反省会的な話し合いが行われている。

◎山形県南陽市

昭和42年に3町村が合併して誕生。人口約3万4600人、面積160・70平方キロメートルで、長井市の東側に隣接している。

長井市の議会運営について研修しました



議員定数は19人で、平成11年からケーブルテレビによる議会中継に取り組んでいるほか、年2回、3日間にわたり、市当局と希望議員との政策研究会を開催。議員にとつて、いい勉強の機会となっている。

議会広報特別委員会

期日：11月4日～5日

場所：宮城県大和町

全国入賞の実力学ぶ

◎宮城県大和町

大和町は、仙台市の北部に隣接し、総面積225・59平方キロメートルのうち、山林は約40%で平地が多い。近年、トヨタ自動車関連の企業進出が進み、人口も増加傾向にある（平成21年12月31日現在、2万4753人）。

カラー化とするなど、読みやすい広報づくりを進めている。また、議会だよりの副題を、町名にちなんで「対話」とし、町民の声を掲載するなど、身近な広報づくりに努めている。

大和町議会の議会だよりの、平成17年度全国町村議会広報コンクールで入賞するなど評価が高い。議会広報編集特別委員会は、常任委員会から推薦された6人で構成。定例会の翌々月1日に発行している。委員は、議案審議などの原稿作成のほか、掲載写真の検討を行う。一般質問は本市と同じ1人1ページで、本年度から紙面のフル



大和町の委員の皆さんにも出席いただきました

緑松会

大和田順一（代表）、高橋光幸、高橋俊彦、伊藤一彦、古川津好

火山を観光振興に積極活用

緑松会では、昨年11月、火山を有する自治体の観光振興と観光協会の取り組みについて、行政視察を行いました。

◎長崎県雲仙市観光物産まちづくり推進本部

雲仙市は、7町が合併し、主産業が農業と観光のまちでした。観光面では、普賢岳噴火直後は灰の影響を受けましたが、キャンペーンの努力や、噴火を見に来る客が増えたため、影響は少なくなりました。観光施策では、ジオパークへの取り組み、泉質の違う温泉を生かした健康づくり観光、インバウンド対策（アジア各国へ発信）や、国の観光圏事業への取り組みなど、各種団体や他産業との連携による雲仙市観光審議協議会を設立し、取り組んでいました。

◎熊本県阿蘇市観光協会



長崎県雲仙市役所前にて

阿蘇市観光協会は、会員数（口数）160で、職員3人で運営されており、観光地の規模の割には職員の少なさに驚きました。イベントなどは無く、主にPR活動との事でした。阿蘇周辺も通過型や高速道路1000円での日帰り客増加の課題もあり、海外への発信や、観光地がオフになる冬期対策など、時間がかかっても行きたい観光地づくりに取り組んでいました。

両市とも、観光客の減少の推移は本市と類似していました。広域観光圏作りや滞在型観光を目指しており、火山や農業活用などの教育旅行などの体験型観光や地産地消などに力を入れていました。本市も、各種団体や他産業との連携による6次産業化も含めた観光振興とともに、1次産業の連携振興も必要と感じたところです。

日本共産党

米田定男（代表）、山本榮、高橋悦郎

市内の文化施設などを視察

◎日本共産党会派は、昨年10月8日、市内6カ所の文化施設などを視察しました。視察では、担当職員から、施設の特長や課題など、詳しい説明を聞きながら行い、充実したものになりました。現在、旧町村ごとに民俗資料館がありますが、将来的には運営や管理の在り方が課題になるのではないかと、また、資料館への来場者の拡大など、いろいろな課題などを学びました。安代漆工技術研修センターでは、作業現場も視察しながら漆器技術の説明を聞き、全国的にもレベルの高い研修センターであることを感じました。



「安比塗漆器工房」にて

◎昨年11月22日から23日まで、自治体問題研究所主催の「第14回全国小さくても輝く自治体フォーラム」に参加しました。このフォーラムは、小さくても合併しないで地域住民の暮らしを守っていく、全国57町村長が呼び掛け人となって開催されているもので、今回は福島県大玉村で開催されました。住民の顔の見える利点を生かし、保健・福祉行政を前進させる取り組みのほか、中山間地の特長を生かした村づくりや、近隣市町村との共同の取り組みを前進させ、全国的に連携を強める交流などを学びました。



福島県大玉村「農村環境改善センター」にて

宮古市議会と合同研修会を開催

サケのふ化状況など視察



サケふ化場で、担当者から説明を受けました

昨年11月10日から11日まで、宮古市議会との合同研修会を開催しました。

宮古市と本市は、旧松尾村と旧田老町で行われていた姉妹都市提携による友好親善の絆と精神を引き継ぎ、平成18年11月3日に姉妹都市を締結。産業、教育、文化のほか、災害時における相互支援を含めた交流を図っています。

この研修会も、両市議会相互の理解と交流を深めるため毎年交互に開催しているもので、3年目となる今回は、サケのふ化状況や、地域団体商標(地域ブランド)に登録されている真崎わかめの加工状況などを視察しました。

議会の動き(10月~1月)

◎10月

- ▶19日 盛岡北部行政事務組合議会第2回定例会
- ▶27日 盛岡地区広域行政事務組合10月定例会
- ▶29~30日 議会運営委員会行政視察(山形県南陽市、長井市)

◎11月

- ▶4日 全国過疎地域自立促進同盟定期総会(議長)
- ▶4~5日 議会広報特別委員会行政視察(宮城県大和町)
- ▶6日 茨城県小美玉市議会行政視察対応(庁舎建設について)
- ▶9日 議会運営委員会、市議会第4回臨時会、教育民生常任委員会
- ▶11月10日~11日 宮古市議会・八幡平市議会合同研修会
- ▶11日 県市議会議員研修会(盛岡市)

- ▶17日 全国市議会議長会基地協議会理事会(議長)
- ▶24日 一関市議会行政視察対応(議会広報について)
- ▶26日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会
- ▶27日 議会運営委員会、市議会第5回臨時会
- ▶27日 教育行政懇談会

◎12月

- ▶4日 議会運営委員会
- ▶10~16日 市議会平成21年第4回定例会
- ▶10日 議会広報特別委員会
- ▶11日 総務・教育民生常任委員会
- ▶24日 盛岡地区広域行政事務組合12月臨時会
- ▶25日 議会広報特別委員会

◎1月

- ▶6日 議会運営委員会、市議会第1回臨時会、議員全員協議会
- ▶12日 議会広報特別委員会
- ▶14日 岩手県市議会議長会臨時総会
- ▶20日 市議会議員・農業委員会委員合同研修会

ある方から、「議会だより17号で『松川渓谷の玄武岩』とあるが、あれは安山岩です」とご指摘を頂きました。改めて調べると、主に火山岩に含まれる二酸化ケイ素の割合で分類されるそうです。なお、松川渓谷の玄武岩は、火山岩の分類とは直接関係なく、柱状節理が発達した景勝地の一般的名称として名付けられているようです。ご指摘ありがとうございました(勇孝)

事務局日記

3月定例会日程(予定)

3月定例会は、2月下旬から約3週間開催します。傍聴希望者は、市役所本庁へ当日おいでください。希望者には、詳しい日程が決まり次第(定例会初日のおよそ3日前)、ファクスでお知らせします。

詳しくは議会事務局(☎76-2111、内線1323)まで。